高校生ものづくりコンテスト２０１２東北大会【山形大会】
兼第 12 回高校生ものづくりコンテスト全国大会代表選手選考会

山形県立鶴岡工業高等学校
事務局　柴田　和彦

１　はじめに

２０１２年の東北大会木材加工部門は、山形県開催となり、山形県立職業能力開発専門校を会場として実施された。実行委員会は、県大会の経験を踏まえ、県内建築関係学科を設置している６校により選出された委員によって運営された。

２　大会概要

１）大会期日及び会場

平成２４年７月２８日（土）

山形県立職業能力開発専門校　１年実習棟

２）参加校

青森県立弘前工業高等学校、秋田県立横手清陵学院高等学校、岩手県立水沢工業高等学校、仙台市立仙台工業高等学校、福島県立福島工業高等学校、山形県立米沢工業高等学校、山形県立新庄神室産業高等学校、以上６県７校より計７名が参加した。

３）課題

第１２回ものづくりコンテスト全国大会と同等の小屋組みの課題を、支給されたスギ材と指定された工具を使用して、２時間３０分の競技時間内で完成させる。制限時間は、全国大会の２時間３０分と同じ条件とした。

４）実行委員会

山形県立職業能力開発専門校や山形県建築組合員、そして、各校の実行委員の方々の多大な協力の元、県大会の経験により１回のみで運営できた。

５）審査

山形県立職業能力開発専門校主任指導員、大泉昇先生に審査委員長を依頼し、競技運営や審査について指導いただいた。審査員の構成は、山形県立職業能力開発専門校教員４名、山形県建築組合員２名の計６名であった。

県大会同様、審査項目が細分化され、時間を要することが予測され、事前準備はしたものの大会当日若干の不徹底が生じてしまった。

３　大会結果

競技課題は、小屋梁と束の取り合いが小根ほぞさしとなったことや、垂木勾配が５寸勾配の指定になったことなどが、昨年度からの変更点であった。

最も短いタイムは、２時間２０分３４秒、最も遅かったタイムは、２時間３０分００秒であった。７名全員完成となったが、ロスタイムの連絡の仕方に多少問題が生じた。しかし、道具の準備、加工技術、整理・整頓そして掃除にいたるまで、見事な「匠の技」を披露してくれた生徒が多かった。

成績上位者は、以下のとおりである。

優勝　仙台市立仙台工業高等学校　佐藤篤使　君
（以上１名全国大会へ出場）

準優勝　青森県立弘前工業高等学校　齊藤竣　君

第３位　福島県立福島工業高等学校　盛藤駿介君

出場者と作品

４　おわりに

ロスタイムの差により終了時間が選手により異なるため、進め方など困難なところもあったが、東北各県の代表選手はその匠を遺憾なく発揮してくれた。山形県立職業能力開発専門校と山形県建築組合の全面的な御協力に感謝致します。